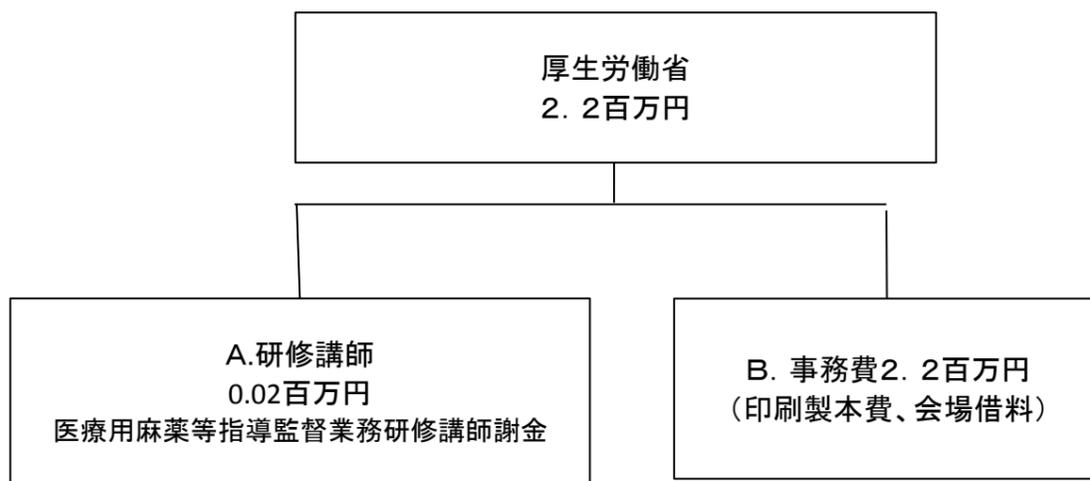


平成23年行政事業レビューシート (厚生労働省)

事業名	医療用麻薬適正使用推進事業		担当部局庁	医薬食品局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成19年度		担当課室	監視指導・麻薬対策課		課長 中井川 誠		
会計区分	一般会計		施策名	IV-4-3 麻薬・覚せい剤等の乱用を防止する				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	がん対策推進計画				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	医療用麻薬の管理と適正使用の推進を図るための施策を実施するための予算である。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	<ul style="list-style-type: none"> <li>医療関係者等向けに、麻薬及び向精神薬取締法等に基づく医療用麻薬の適正使用推進のための講習会の開催。</li> <li>医療用麻薬適正使用ガイダンスの麻薬施用者・麻薬管理者への配布。</li> <li>都道府県の業務担当職員を対象に、医療用麻薬等指導監督業務研修を実施し、全国的に統一した管理・指導監督を実施。</li> </ul>							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
		補正予算	△1					
		繰越し等						
		計	23	17	9	8	3	
	執行額	5	8	2				
	執行率(%)	22%	47%	22%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)
	本事業は、医療用麻薬について、全国的に統一した適正な使用・管理・指導が行われることを目的としており、成果について定量的に示すことはできない。		成果実績		-	-	-	-
			達成度	%	-	-	-	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	①講習会会場数 ②講習会参加者数 ③研修参加者数		活動実績 (当初見込み)	①箇所	11	12	11(12)	(12)
				②人	2840	2169	1746(2400)	(2400)
				③人	41	40	40(47)	(47)
単当たりコスト	① 181,818円/箇所 ② 1,145円/人 ③ 400円/人		算出根拠	①執行額(2,000千円)/会場数 ②執行額(2,000千円)/参加者数 ③執行額(16千円)/参加者数				
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	諸謝金	0.1	0.1	医療用麻薬適正使用ガイダンス作成事業の廃止等による減				
	職員旅費	0.5	0.4					
	委員等旅費	0.5	0.4					
	医薬品審査等業務庁費	7.4	2.4					
計	8	3						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	-	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>・いずれも、医療用麻薬について、全国的に統一して適正な管理・使用・指導が行われるために必要な事業である。</p> <p>・がん疼痛緩和と医療用麻薬の適正使用推進のための講習会については、共催する財団法人麻薬・覚せい剤乱用防止センター等とともに実施するものであり、分担して費用負担しているところ、今後も必要な見直しを行い、適正な執行に努めるべき。なお、平成22年度において、活動実績の会場数が見込みより1箇所少ないのは、平成23年3月の震災の影響で東京会場での開催が中止となったためである。</p> <p>・医療用麻薬適正使用ガイドンスについては、最新の情報を踏まえて改訂し、必要最小限の発行とする等、適正かつ効率的に執行するとの前年の点検結果を受けて、平成22年度には内容の修正事項を精査し、改訂の検討を行った。</p> <p>・医療用麻薬等指導監督業務研修については、引き続き庁舎会議室を会場として利用する等の低コストの維持に努めるべき。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善	<p>医療用麻薬適正使用推進事業について、毎年度恒常的に不用が生じており、予算と執行の乖離の要因等を精査し、予算を縮減すること。</p>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
<p>医療用麻薬適正使用ガイドンス作成事業の廃止等により縮減を図った。引き続き、適正かつ効率的な予算執行に努めることとする。(反映額: ▲5百万円)</p>			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			



資金の流れ  
(資金の受け  
取り先が何を  
行っているか  
について補足  
する) (単  
位: 百万円)

費目・用途 （「資金の流れ」 においてブロック ごとに最大の 金額が支出され ている者につい て記載する。費 目と用途の双方 で実情が分かる	B.事務費					
	費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
	印刷製本費	研修会資料	1.5			
	会場借料	会場借料	0.7			
計		2.2	計			

支出先上位10者リスト  
B.事務費

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	東邦不動産(株)	会場等借上一式 がん疼痛緩和と医療用麻薬の適正使用推進のための講習会	0.19	-	-
2	株式会社豊島	がん疼痛緩和と医療用麻薬の適正使用推進のための講習会(栃木)270部	0.17	-	-
3	株式会社豊島	がん疼痛緩和と医療用麻薬の適正使用推進のための講習会(岡山)280部	0.15	-	-
4	株式会社豊島	がん疼痛緩和と医療用麻薬の適正使用推進のための講習会(京都)360部	0.14	-	-
5	株式会社豊島	がん疼痛緩和と医療用麻薬の適正使用推進のための講習会(徳島)330部	0.13	-	-
6	株式会社豊島	がん疼痛緩和と医療用麻薬の適正使用推進のための講習会(愛知)380部	0.13	-	-
7	株式会社豊島	がん疼痛緩和と医療用麻薬の適正使用推進のための講習会(山梨)330部	0.13	-	-
8	株式会社豊島	がん疼痛緩和と医療用麻薬の適正使用推進のための講習会(福井)300部	0.13	-	-
9	株式会社豊島	がん疼痛緩和と医療用麻薬の適正使用推進のための講習会(北海道)200部	0.13	-	-
10	株式会社豊島	がん疼痛緩和と医療用麻薬の適正使用推進のための講習会(秋田)230部	0.12	-	-